

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

「支部長懇談会、支部長会議」報告



2019年度後援会総務
小林淳（慧大／現代福祉学部）

5月31日(金)、6月1日(土)の両日にわたり、市ヶ谷キャンパス、ポアソナード・タワー26階スカイホールにおいて、支部長懇談会ならびに支部長会議が行われました。支部長懇談会では小澤徳後援会会長のあいさつ、松丸伊三雄卒業生・後援会連携室部長から事務局の紹介、ならびにHSC(法政スポーツコミュニティ)の現状に関する説明がありました。

懇談会の後半は支部の皆さんが、地域ごとに9つのグループに分かれ、後援会活動に関する意見交換を行いました。近隣の地域とはいえ、普段交流のない支部の皆さんが、各支部の特徴的な活動や困っていることなどを共有する時間を持つことができました。

翌日の支部長会議では、小澤会長のあいさつに続き、増田正人常務理事からあいさつをいただきました。議事においては、事業報告案、事業計画案、決算報告案、予算案の説明を行い、さらに、会則改定、後援会見舞金規程の変更について説明が行われました。



2019年度法政大学後援会総会は、6月1日(土)、慣れ親しんだ薩埵ホールに代わり、富士見ゲートG403教室にて開催されました。校友会の佐々木郁夫会長、後援会クラブの濱清隆会長にご臨席いただき、全国36支部の支部長と支部役員、そして、会員と役員の方々にご出席いただきました。

小澤徳後援会会長の開会あいさつ、ご来賓の方々からのあいさつに続いて議事に入り、2018年度の事業報告と決算報告、監査報告が行われました。2019年度に関しては、新たに策定された「2019年度の基本方針」に関する説明がありました。後援会組織とその活動を継続可能なものとするという課題に対しては、活動内容などを分析し、将来の後援会の在り方に



2019年度後援会顧問
樽石賢二

ついて、首都圏と支部の役員がさまざまなかたちで議論をしていくことが示されました。さらに、2019年度の事業計画と予算、会則改定に続き、役員選出の審議を経て、全ての議事が可決・承認されました。最後は、小澤前会長から渡辺康太新会長への伝統の禱(たすき)の引き継ぎと渡辺会長による新役員紹介で締めくくられました。

法政大学後援会は前向きな視点に立ち、これからも学生に寄り添った活動を進めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



2019年度 後援会役員

| | | | | |
|------|-------|-------|--------|--------|
| 会長 | 渡辺康太 | 福尾美貴子 | 山口秀一 | 吉川信宏 |
| 副会長 | 石橋久美子 | 魚野有理 | 清水伸行 | 廣島映一 |
| 総務 | 磯崎恵美子 | 小林淳 | 相澤さえ子 | 友利方彦 |
| 常任幹事 | 石塚知子 | 内堀文明 | 小林敬二 | 高野律子 |
| 4年 | 松本悟 | 伊藤晴通 | 金子裕子 | 國松孝公 |
| 3年 | 朝倉賢司 | 平塚則吉 | 石井亘 | 横山久美子 |
| 2年 | 赤井亮太 | 岸美加子 | 佐々木みどり | 下石川早苗 |
| 4年 | 村上博文 | 山田恵子 | 遠藤澄江 | 古賀ゆかり |
| 3年 | 相川毅 | 伊勢和房 | 永野櫻子 | 新美優子 |
| 2年 | 中村健太郎 | 吉田勇二 | 石川英一 | 大高理香 |
| 1年 | 浅見佐亨 | 林明裕 | 小宮美知代 | 島田昌彦 |
| 監査 | 杉原典子 | 杉山美佐和 | 中村章子 | 長谷川裕美子 |
| | 松尾奈穂子 | 松野千栄子 | 松崎浩司 | 松野千栄子 |



2019年度 法政大学後援会 運営委員

写真前列左から魚野有理副会長、山口秀一副会長、渡辺康太会長、福尾美貴子副会長、石橋久美子副会長
後列左から小林淳総務、廣島映一総務、清水伸行総務、相澤さえ子総務、磯崎恵美子総務、吉川信宏総務、友利方彦総務

2019年度首都圏父母懇談会のご案内

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の1～3年生の父母の皆さまへは、8月上旬よりキャンパスごとに順次案内状を発送する予定です。4年生の父母の皆さまや一都三県以外の父母の皆さまもご参加いただけます。詳しくは後援会ウェブサイト (<https://www.hosei-koenkai.org/>) をご覧ください。

- 市ヶ谷キャンパス 10月6日(日) 法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS(グローバル教養学部)の父母・保証人対象
- 小金井キャンパス 10月13日(日) 情報科学部、理工学部、生命科学部の父母・保証人対象
- 多摩キャンパス 10月19日(土) 経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の父母・保証人対象

※()内は子どもの名前/学部
本文の役職名は2019年6月当時のものです。

2019年度 主な事業

2019年度(2019年4月～2020年3月)の主な事業は以下のとおりです。

| 事業項目 | 主な事業 | |
|-------------------|--|---|
| 1.父母懇談会 | 支部 | ・支部総会・父母懇談会を36支部で開催[7/6(土)～8/25(日)] |
| | 首都圏 | ・東京・神奈川・千葉・埼玉の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス[10/6(日)]、小金井キャンパス[10/13(日)]、多摩キャンパス[10/19(土)] |
| 2.後援会活動の活性化と適正化 | ・各種会議への参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 | |
| 3.支部における諸活動(任意) | ・新入生父母の集い ・キャンパス見学や、会員相互の親睦を図るための企画および実施 ・支部による学生課外活動の支援 | |
| 4.学生・大学への助成 | ・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困難学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する「学生手帳」作製、「就職活動手帳」および「インターシップ手帳」作製、その他の助成を実施 ・広報活動などの補助 ・大学の歴史を体系化する取り組みへの支援 | |
| 5.広報活動 | ・広報誌「HOSEI」掲載の「後援会だより」、後援会ウェブサイトの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作製 | |
| 6.大学関係者との連携強化 | ・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携 | |
| 7.学生(課外)活動などのサポート | ・東京六大学野球、ラグビー、アメリカンフットボール、東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などの応援 ・文科系学生の課外活動への後押し | |
| 8.その他 | ・対外組織との連携 | |

2019年度 収支予算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

| 【収入の部】 | | (単位:円) |
|-----------------|-------------|--------|
| 科目(款) | 2019年度予算額 | |
| 1.一般収入 | 235,704,000 | |
| 2.雑収入 | 1,552,000 | |
| 3.積立金・引当資産からの繰入 | 25,000,000 | |
| 4.預り金収入 | 0 | |
| 当年度収入合計(A) | 262,256,000 | |
| 前年度繰越金 | 63,275,000 | |
| 収入合計(B) | 325,531,000 | |

| 【支出の部】 | | (単位:円) |
|----------------------|-------------|--------|
| 科目(款) | 2019年度予算額 | |
| 1.自然災害等被災学生のための学生支援費 | 20,000,000 | |
| 2.学生支援費 | 98,081,000 | |
| 3.会員情報費 | 30,049,000 | |
| 4.会員行事費 | 44,158,000 | |
| 5.役員活動費 | 11,526,000 | |
| 6.企画運営費 | 25,886,000 | |
| 7.人件費 | 11,966,000 | |
| 8.学生支援積立金 | 30,000,000 | |
| 9.後援会積立金 | 0 | |
| 10.引当資産 | 1,000,000 | |
| 11.未払金支払 | 33,000 | |
| 12.前払金 | 0 | |
| 13.予備費 | 5,000,000 | |
| 14.期末未払金 | 0 | |
| 15.前期末前払金支払 | 0 | |
| 16.預り金支払 | 0 | |
| 当年度支出合計(C) | 277,699,000 | |
| 当年度収支差額(A)-(C) | △15,443,000 | |
| 次年度繰越金(B)-(C) | 47,832,000 | |
| 支出合計(D) | 325,531,000 | |

■ 後援会ウェブサイトのご案内

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジ色のインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。

<https://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学後援会 検索



広島県支部長
林健三(千乃) / 国際文化学部

「広島県支部 新入生父母の集い」報告



5月25日(土)広島アンデルセンにて、2019年度新入生父母の集いを開催しました。多くの新入生保護者の方に父母の集いに興味を持っていただけるよう、法政で過ごした4年間「父と娘の本音トーク!」と題し、中国放送の現役アナウンサーであり、2014年度に支部長を務められた本名正憲さんと、2016年にデザイン工学部を卒業され、現在楽天でLINEスタンプ事業に携わっている本名佑衣さんの親子をお招きして、お話を伺いました。佑衣さんからは、法政を志望した理由、授業やサークル活動などを通して培われた力、就職活動のことなど、そのまま高校生に話しても法政の魅力が伝わるような興味深いお話を聞くことができ、また父親の正憲さんは、保護者としての役員活動の楽しさを語りられました。終始盛り上がり、あつという間の40分間でした。

続いて本部からは、多摩事務部現代福祉学部事務課の秋山和俊課長より「法政大学の現状および学生生活について」のお話があり、その中でも大学として伸ばしてほしいこととして、自分の意見を伝え人と交わっていく力、そしてコミュニケーションの必要性を分かりやすく説明していただき、大変参考になりました。

キャンパス別に分かれたテーブルでは、前の週に開催された東京での新入生歓迎学生交流会の様子の写真を回覧しながら、和やかな雰囲気での情報交換をすることができました。これからも楽しい交流の場でありたいと考えています。



山梨県支部長
赤尾聡(啓) / 経済学部

「山梨県支部 新入生父母の集い」報告



山梨県支部では2019年度「新入生父母の集い」を6月2日(日)午後2時から、甲府市内の岡島ローヤル会館で開催いたしました。会場、プログラムなどは例年どおりとなりますが、今年は11世帯15人の新入生父母と後援会役員など18人、大学からはキャリアセンター・小金井事務課就職支援・研修担当の勝俣吉通主任を含めて合計34人の参加がありました。本年度は、山梨県出身の新入生が35人です。ここ数年は50人程度の新入生がいますので、今年度は、若くすためです。そのため新入生父母の集いも、例年に比べて小規模の開催となりました。

模の開催となりました。新入生父母の皆さんは、初めは緊張気味でしたが、コーヒー、ケーキとともに次第にくつろぎ、出身校の話や家族構成など自己紹介をしながら、子どもの話で盛り上がりつつありました。

また、勝俣主任からは、法政大学の学生生活について履修登録の方法や成績通知と採点基準の変更内容など丁寧に説明していただきました。さらに、勝俣主任が山梨県富士吉田市出身という点も、より親しみを感じたでしょうか。活発な意見交換ができ、新入生父母の方々も大学への信頼感や安心感を強めることができたと思います。

予定時間があっという間に過ぎ、最後に集合写真撮影しました。親同士の新しいネットワークができたこともあり、和やかな会の雰囲気そのまますみやかに写真に収まりました。

また、新入生の役員も無事選出することができ、今後の後援会活動にも積極的に協力していただけるのではないかと期待しています。